

大相模調節池水辺活用調整協議会 第7回協議会 会議録（要旨）

1 日時

令和6年（2024年）4月19日（木）午後4時から午後5時まで

2 会場

水辺のまちづくり館 大会議室

3 出席者

大相模自治会連合会、川柳地区自治会連合会、レイクタウン北自治会
レイクアンドピース株式会社、特定非営利活動法人越谷ふるさとプロジェクト、
特定非営利活動法人セイラビリティ越谷、一般社団法人越谷市観光協会、
埼玉県河川環境課、埼玉県越谷県土整備事務所、
越谷市都市計画課、越谷市公園緑地課、越谷市経済振興課（事務局）

4 オブザーバー

イオンモール株式会社

5 内容

■議事

（1）会長、副会長の選出について

任期満了に伴い、会長・副会長の選出を行った。

（2）新栈橋の整備と水上アクティビティ事業について

<主な意見等>

県河川環境課より、新栈橋の現在の整備状況および今後の整備予定について説明があった。要旨は以下のとおり。

委員

（県河川環境課）

- ・ Aゾーンの水上デッキについては、当初2箇所の設置を計画していたが、1箇所のみの設置で計画を進めている。
- ・ 栈橋の形状については、事業者と協議を重ね、事業者の実施したい内容や予算等を勘案し当初の形状から現在の形状へと変更となった。

続いて、水上アクティビティ事業の概要についてレイクアンドピース株式会社より説明があった。要旨は以下のとおり。

- 委員
(レイクアンド
ピース株式会社)
- ・(仮称)レイクアンドピース 水上パークとして、SUPやカヤックを用いたアクティビティ事業を予定。
 - ・越谷市カヌー協会に協力いただき、3名体制での運営を予定。
 - ・天候、流域河川での注意報等、安全面に配慮した運用を行う。

(主な質疑)

- 委員
(セイラビリティ越谷)
- ・当初示されたイメージ図と現在の状況が乖離しているが、変更になった経緯等について説明がないまま進められている。現在の栈橋の形状は景観の観点からも良くない。より良いものを作ろうとしていないのではないのか。
 - ・当初計画から変更があったということは、今後もこの形状からの変更があるということか。当初計画のアーチ型の形状に戻ることもあるのか。

- 委員
(越谷ふるさと
プロジェクト)
- ・協議会に諮ることもなく当初のイメージ図から変更があり、事後報告のみで済まされるというのは、今まで見てきたイメージ図は何だったのかという話になる。

- 委員
(県河川環境課)
- ・栈橋の形状については、事業者と協議を重ね、栈橋の利用目的を実施可能な形状とすることを前提に、諸条件等を勘案しながら現在の形状となっている。
 - ・栈橋に使用している商品の性質としてブロック追加による延長は可能だが、従来のプランに戻るような計画変更は想定していない。
 - ・計画変更については予算等の観点からご理解をいただきたい。

続いて、越谷県土整備事務所より、Aゾーンの下部工の工程等について説明があった。要旨は以下のとおり。

- 委員
(県越谷県土整備事務所)
- ・現在下部工の設計を行っており、早ければ今年8月頃から工事箇所周辺の仮囲い設置を始める予定。

(主な質疑)

委員(レイクタウン北自治会) ・ 工事に伴う仮囲いにより、遊歩道は通行不能となるのか。

委員(県河川環境課) ・ 工事の時期により遊歩道の一部を仮囲いすることはあるが、通行不能となるようなことは予定していない。

委員(観光協会) ・ 仮囲いの期間はどれくらいを予定しているのか。

委員(県河川環境課) ・ 未確定ではあるが、少なくとも来年3月頃まではかかる想定である。

深井会長 委員から様々な意見が出たと思うが、事務局としてきちんと受け止めたていただきたい。事業スケジュールもあると思うが、再考が必要な部分は検討し、協議会にて報告いただきたい。

■その他

○県河川環境課から

・ 大相模調節池のネーミングライツを検討している。

○事務局から

・ 次回会議については、令和6年7月を予定。